

平成 27 年度
事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から
平成 28 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 浄土宗ともいき財団

目 次

概 況	3
I 公益目的事業	
ア. 地域交流事業	3
イ. 助成事業	4
ウ. 相談活動事業	5
エ. 国際協力事業	6
オ. ラジオ番組制作事業	6
カ. 普及活動事業	7
II 収益事業	
ア. 出版事業	10
イ. 物品販売事業	10
III 管 理	
1. 会員・寄附金に関する事項	11
2. 理事・監事に関する事項	11
3. 評議員に関する事項	12
4. 委員に関する事項	12
5. 事業報告に関する事項	12
6. 会議に関する事項	12
事業報告附属明細書	14

概 況

平成 27 年度は、会費・寄付金額が増加したが、地域交流事業において事業化に至らなかったプロジェクトもあり、執行率はやや低下した。一方で、アースキャラバンやミャンマーBOOK&TOYをはじめとしたNPO 法人との協働を積極的に行い、横のつながりが強化された1年となった。

事業整理やガバナンス強化についても過年度に引き続き検討を行い、特に助成事業においては、助成審査委員会の設置・規程の制定など、公正な審査システムの構築に努めた。

その他、個別事業の本年度事業結果を以下に報告する。

I 公益目的事業

ア. 地域交流事業

お寺の公益活動によって、地域住民の交流を促し豊かな地域社会の形成を目指す事業。

本年度は、新規プロジェクトの聞き取りなどの調査として6県にアプローチした。また、菩提寺大イチョウコンサートなど、自治体との協働も実現した。その他NPO 法人との協働によりネットワークの拡大、認知度の向上に努めた。

A. 寺院・僧侶対象

僧侶や寺庭婦人の資質向上を促し、一般・檀信徒にとって有益な寺院の構築を目指す。

(1) 公開セミナーの実施

「心といのちの電話相談室」が5周年を迎えるにあたり、これまでの統計データを分析し、活動を通して見えてきたこと、社会が今、お寺や僧侶に何を求めているかと共有しともに考えた。

実施日：平成 28 年 3 月 29 日（火）18:00～20:20

場 所：大正大学（東京都豊島区）

内 容：「仏事相談に隠れた本当の悩み——心といのちの電話相談室の活動を通して」

①活動報告 当財団事務局（相談活動事業担当 廣畑）

②記念講演 講師：名越康文（精神科医）

参加者数：60名

B. 地域住民対象

(1) 地域社会の活性化に寄与することを目的とした催しの実施・協働。また、主に過疎地域のお寺に対し、地域活性化を図る催しを提案、イベント開催を支援した。中には寺院・団体との協働で実施し、コーディネーターとして企画立案から関わるものもあった。

①出前寺子屋（講師紹介・広報） 全国各地9ヶ所で開催

②ともいき日高プロジェクト（企画・広報・資金協力）和歌山・日高地方

「日高念仏大法会」平成 27 年 11 月 22、23 日（5ヶ年計画2年目）

③願海庵祭り（企画・手配・人材派遣）岩手・二戸市 平成 27 年 10 月 10 日

④菩提寺大イチョウコンサート（企画・講師紹介・広報・資金協力）平成 27 年 8 月 1 日

- ⑤過疎問題連絡懇談会（徳野スクール）（調査への参加・発表）平成 27 年 9 月 11 日～13 日
- ⑥寺社フェス「向源」（出展）平成 27 年 5 月 2 日
- ⑦「アースキャラバン 2015」（出展・人材協力）平成 27 年 7 月 19 日
- ⑧「りんりんフェス」（出展）平成 27 年 10 月 4 日
- ⑨ひとさじの会（資金協力）
- ⑩ひとさじの会 公開シンポジウム『食から考える貧困問題—お寺と地域の協働—』（人材協力）平成 28 年 1 月 23 日

(2) 被災地対象 ※東日本大震災被災地支援活動

東日本大震災の復興支援に取り組む浄土宗教師からの求めに応じ、事業協力を行った。

- ・親子で行こう！田植え・稲刈り体験ツアー（共催・企画・資金及び人材協力）

田植え：平成 27 年 6 月 6 日～7 日（福島県西会津地方）参加者：35 名

稲刈り：平成 27 年 10 月 3 日～4 日（福島県西会津地方）参加者：39 名

収穫祭：平成 27 年 11 月 7 日（福島県いわき市）参加者：39 名

※全日本仏教会災害救援活動団体に対する助成（第 10 次、第 11 次）を受けた事業

イ. 助成事業

国内外における公益活動やボランティア活動など仏教精神に基づく社会貢献活動において、その活動の実施主体者である浄土宗寺院・関係団体から申請があった場合、その資金の全部または一部を助成し「寺院を通じた社会貢献活動」を推進する事業。また災害発生時には、災害に対するボランティア活動支援を行う浄土宗寺院・関係団体に援助をおこなう。

第 6 回理事会において、審査委員会設置の決議がなされたため、本年度より委員会での審査を実施した。審査は募集要項・選考基準に基づいて厳正に行い、助成先に対しては中間及び結果報告を求めた。

【27 年度助成団体】11 件

助成先団体名	活動名	助成金額
應典院（大阪）	「ブッダのめがね～仏教と出会い自分を見つめるお寺サロン～」	100,000 円
浄林寺（佐賀）	浄林寺落語会	100,000 円
極楽寺（大阪）	石切亭ごくらくらくごの会	125,000 円
風のガーデンの会（佐賀）	あなたの望むラストシーン	129,500 円
大雲寺（大阪）	大雲寺サラナ親子教室『雲の会』	147,000 円
自死・自殺に向き合う僧侶の会（千葉）	自死・自殺に向き合う僧侶の会事業	175,000 円
おてらおやつクラブ（奈良）	おてらおやつクラブ	300,000 円
長谷寺（長野）	東日本大震災物故者追悼チャリティコンサート	150,000 円
長谷寺（長野）	長谷寺善光寺分身仏御開帳祈念イベント	240,000 円
「祈りの道」再興プロジェクト（東京）	「祈りの道」再興プロジェクト （東日本大震災被災地支援）	60,000 円

介護者サポートネットワーク ケア結び（宮城）	介護者支援事業	210,000 円
---------------------------	---------	-----------

ウ. 相談活動事業

仏教精神に基づく相談活動とその人材育成をおこなう事業。電話相談室の運営、東日本大震災遺族の心のケア支援、各種研修会の開催による相談員の拡大に努めた。

A. 相談活動

- (1) 心といのちの電話相談室 毎週月曜日 10 時～16 時受付（平成 27 年 12 月まで）
毎週月・金曜日 10 時～16 時受付（平成 28 年 1 月より）

相談員数：各回 3 人体制 のべ 28 人（平成 28 年 3 月 31 日時点）

相談件数：年間 489 件（1 日平均 8.7 件 総着信数 598 件）

分野別件数：※ひとつの相談に複数の項目が該当する為、下記の総計と相談件数の数字は一致しない

人生（239 件）、家族（123 件）、対人（93 件）、保険・医療（91 件）、教育（12 件）、
性（12 件）、法律・経済（25 件）、仏事相談（71 件）、死別（28 件）、情報提供（5 件）、
その他（13 件）

その他：相談員規程・ガイドライン等の整備、広告掲載、記事掲載

- (2) 心のケア支援活動@石巻 ※東日本大震災被災地支援活動

実施日：毎月 1 回（8 月、9 月を除く）

支援スタッフ数：月によって変動あり。3～6 名（支援スタッフ、財団職員）

会場：宮城県石巻市・西光寺

対象人数：10 名前後（月によって変動あり）

支援スタッフ総数：9 名（28 年 3 月 31 日時点）

B. 人材育成

- (1) 「心といのちの電話相談室 第 4 期電話相談員養成講座」全 5 回

第 1 回 平成 28 年 1 月 12 日 電話相談の基礎①、②

第 2 回 平成 28 年 1 月 28 日 ロールプレイ、仏教カウンセリング

第 3 回 平成 28 年 2 月 10 日 グリーフケア（喪失のケア）、ロールプレイ

第 4 回 平成 28 年 2 月 25 日 言語・非言語コミュニケーション、ロールプレイ

第 5 回 平成 28 年 3 月 16 日 電話を使ったロールプレイ、傾聴をするにあたっての確認

開催案内：12 月発送（全国 7,000 ヶ寺）

参加者：6 名

- (2) 電話相談追加研修

目的：相談現場で活動する人物を講師として招き、現相談員のスキルアップを図った

日時：平成 27 年 10 月 14 日 14:00～17:00 参加者：9 名

テーマ：自死遺族を支える中で気がついたこと

(3) 電話相談振り返り

目的：相談員が受けた相談の内容や対応方法について振り返り、相談員の疑問や対応の問題点等について全員で話し合い、解消方法を探った。

日時：第1回 平成27年4月10日 14:00～16:00 参加者：8名
第2回 平成27年6月26日 14:00～17:00 参加者：13名
第3回 平成27年8月27日 14:00～17:00 参加者：11名
第4回 平成27年11月14日 15:00～17:00 参加者：13名
第5回 平成28年2月24日 15:00～17:00 参加者：10名
第6回 平成28年3月30日 15:00～17:00 参加者：7名

エ. 国際協力事業

主にアジア仏教圏に対し寺子屋（政府認定の小学校）建設のための経済支援を行う事業。現在、ミャンマーを中心に活動をしているのは寺子屋が公的な機関として認定されていること、他国と比べて校舎建設の緊急性が高いという理由によるものである。

平成27年度は主に給食支援などのソフト面での支援を実施。また、3回目「ミャンマー祭り」を2日間にわたり開催し、60,000人の来場者を集め、両国間の交流を深めた。

A. 国際支援活動

主にアジア仏教圏での青少年の健全な育成・発展を支援する事業。

(1) 校舎建設への経済的支援・既存校舎の修繕

本年度は校舎建設・修繕は実施していない。

(2) 給食支援・保健指導・NPOとの協力による教育プログラムの提供

- ・給食支援 平成27年1月26～29日（第9、10、11校目、その他1校）計4校1,735名
寺子屋に通う生徒からサンクスカードを預かり、支援者に届ける活動を実施し、支援者がともに支えていることを実感できる仕組みを提供した。本年度は特にフェイスブックで発信の頻度を上げた。
- ・ミャンマーBOOK&TOY100 平成27年11月～平成28年1月（1月26日：寄贈式実施）
ミャンマー祭り2015で協力関係を構築したNPO法人ブリッジ・エーシア・ジャパン及び東京おもちゃ美術館との協働でミャンマーの寺子屋に図書棚と図書、おもちゃを寄贈するプロジェクトを実施。クラウドファンディングによる募金活動に協力し、全国浄土宗寺院に協力を呼びかけた。

(3) 災害時における緊急支援

本年度は実施なし

B. 国際交流活動

海外の宗教団体や非営利団体と交流し、双方向での情報発信と協力関係の構築に努める。

(1) 「ミャンマー祭り2015」の開催 平成27年11月28日～29日

主催者として企画・運営、ブース出展を行った。

[主催] ミャンマー祭り実行委員会

浄土宗ともいき財団・NPO法人メコン総合研究所・駐日ミャンマー大使館

[会場] 浄土宗大本山 増上寺 [来場者] 60,000人

オ. ラジオ番組制作事業

本年度は受託がなかったため、実施していない。

カ. 普及活動事業

「寺院を通じた社会貢献」に対する理解を深め、公益活動の広まりを目指す事業。

本年度は特に、インターネットによる普及活動を強化し、ホームページでの情報公開、Facebook、TwitterといったSNSやサイトを積極的に活用した。特にFacebookでは、隔週で「ともいき」に関するエッセイを投稿し、幅広い世代へ理念を伝えるよう努めた。またイベント開催広告もWEBを活用した。

A. 協力活動

公益活動を行う団体等との交流を深め、相互の連携と協力関係の構築に努める。

(1) 「ともいき懇話会」開催

開催日：第2回 平成27年6月23日 テーマ「社会は日本の仏教界をどう見ているか」

第3回 平成28年2月15日 テーマ「お寺は介護問題に対し何ができるか」

<懇話会メンバー>

代表	山折 哲雄氏	(宗教学者)
発起人	老川 祥一氏	(読売新聞グループ最高顧問・主筆代理)
発起人	豊岡 鏖尔	(浄土宗宗務総長)
発起人	袖山 榮眞	(浄土宗ともいき財団理事長)
	川良 浩和氏	(作家・プロデューサー)
	北村 敏泰氏	(中外日報社常務取締役編集局長)
	小林 敬和氏	(中央公論新社取締役会長)
	真田 和義氏	(毎日新聞常務執行役員)
	宮川 匡司氏	(日本経済新聞文化部)
	森本 俊司氏	(朝日新聞大阪本社事業部)

(2) 広告出稿

- ・浄土宗新聞 電話相談室案内 (隔月)
- ・フリースタイルな僧侶たち (フリーペーパー) 電話相談室案内 (通年)

B. 印刷物等

地域交流事業		
発行月	印刷物内容（部数）	主な配布先
H27. 7	日高念仏大法会チラシ 3,500 部 上記ポスター 300 部	和歌山教区日高組 同上
H27. 7	「縁 JOY おてら」広告協賛のお願い 7,000 部	「宗報」同封
H27. 9	コンセプトブック「縁 JOY おてら」 10,000 部	申込制
H27. 10	「縁 JOY おてら」申し込みチラシ 7,000 部	「宗報」同封
H27. 11	日高念仏大法会チラシ 6,000 部	全国浄土宗寺院※1
H27. 1	ひとさじの会シンポジウムチラシ 1,500 部	ひとさじの会
H27. 2	電話相談室公開セミナーチラシ 7,500 部	「宗報」同封
H27. 2	電話相談室公開セミナーチラシ（一般向） 1,500 部 上記ポスター 30 部	関係協力団体 同上

相談活動事業		
発行月	印刷物内容（部数）	主な配布先
H27. 11	電話相談員養成講座ご案内 7,000 部	全国浄土宗寺院※1
H27. 11	電話相談室リーフレット 60,000 部 上記ポスター 6,000 部	全国浄土宗寺院※1 同上

国際協力事業		
発行月	印刷物内容（部数）	主な配布先
H27. 11	ミャンマーBook&TOY プロジェクトチラシ 6,500 部 ※上記印刷費は、活動主体団体 NPO 法人 BAJ から支出	全国浄土宗寺院※1
H27. 11	ミャンマー祭り 2015 チラシ 5,600 部	全国浄土宗寺院※1
H27. 11	ミャンマー祭り 2015 チラシ 8,500 部 上記ポスター 850 部 ※上記印刷費は、ミャンマー祭り実行委員会から支出	上記内関東 4 件 (神奈川・東京・ 埼玉・千葉)

物品販売事業		
発行月	印刷物内容（部数）	主な配布先
H27. 5	法然上人散華チラシ 7,000 部	「宗報」同封

管理		
発行月	印刷物内容（部数）	主な配布先
H27. 7	会報誌「ともいき MEMBER'S」vol.2 1,500 部	当財団会員
H27. 11	会員募集振込用紙 6,000 部	全国浄土宗寺院※1

※1 財団パックでの発送（11月）。

C. インターネット

(1) ホームページの運営

- ・web サイトリニューアル
- ・オンライン寄付・グッズ申し込みの運営
- ・最新イベント等の情報発信
- ・電話相談室、助成申請等の情報掲載

(2) SNS (Facebook、Twitter) の運営

- ・イベントの集客PR (有料広告の活用) …投稿数1件 リーチ数5,062人
- ・活動の告知・報告…投稿数69件 総リーチ数28,291人
- ・協力団体との情報共有

※リーチ数とは、どれだけの人がある記事に到達したかということ。

(3) プレスリリース

- ・インターネットを活用したプレスリリース配信
- ・PR情報サイトへのイベント等の投稿

Ⅱ 収益事業

ア. 出版事業

日本の文化・行事などに根差した仏教的精神を知らしめるための書籍「浄土宝暦」出版を行った。本年度は全面改訂を実施し、昨年度より減少傾向にあった販売部数が増加した。

A. 書籍の制作

- ・平成 28 年版浄土宝暦の制作

B. 書籍の販売

- ・平成 28 年版浄土宝暦の販売

見 本：7,500 部

売上部数：340,756 部（単価 90 円）

イ. 物品販売事業

劈頭宣言普及のためのグッズ販売を行った。

- ・法然上人スゴロクの販売

売上部数：90 部

- ・法然上人散華の販売

販売の方式として 50 枚 1 組・各絵柄 10 枚ずつの「セット」と、5 枚 1 組・各絵柄 1 枚ずつの「バラ」の二種がある。

売上部数：第一弾…セット：110 組 バラ：327 組 封筒：491 部

第二弾…セット：78 組 バラ：188 組 封筒：576 部

Ⅲ 管 理

1. 会員・寄付金に関する事項

宗の内外を問わず広報を行い、会員数および寄付金の増加を目指した。

税額控除対象法人として認可を受けたことを会員募集広告・パンフレット等にてアピールし、会員獲得に努めた。

(1) 平成27年度会員数

正会員： 391名（内 未収34名）
応援会員： 24名（内 未収 4名）
法人会員： 35法人（内 未収 9法人）

合計： 415名+35法人

(2) 会費と特典

個人会員 ①正会員（1口 10,000円）
 ②応援会員（1口 3,000円）
法人会員 （1口 50,000円）

※1 会員はすべて税制上の優遇措置が受けられる。

※2 会員には会報誌を発送する。

※3 浄土宗教師には功績点を付与。

2. 理事・監事に関する事項

(1) 平成27年6月4日開催の第5回評議員会において、任期満了に伴う新任の理事4名と再任の5名、及び新任の監事2名について理事選任の決議が行われ、8月4日付で東京法務局に理事変更登記の手続きを完了し、8月31日付で内閣府に変更届を提出した。

理事（退任）畦 昌彦、岡本宣丈、柏木正博、北川順也
 （新任）豊岡隼尔、小野富子、友田達祐、野口秀樹
 （再任）今岡達雄、佐藤行雄、新谷仁海、袖山榮眞、藤木雅雄
監事（退任）石上源應、坂野泰巨
 （新任）柏木正博、玉澤健児（敬称略）

(2) 平成27年6月19日開催の第6回理事会において、代表理事及び業務執行理事の選定が行われ、8月4日付けで東京法務局に代表理事変更登記の手続きを完了し、8月31日付で内閣府へ変更届を提出した。

代表理事（退任）袖山榮眞
 （新任）豊岡隼尔
業務執行理事（再任）藤木雅雄（敬称略）

(3) 平成28年3月15日開催の第10回理事会において、豊岡隼尔理事長の退任（3月31日付）に伴い、代表理事の選定（4月1日就任）が行われ、4月13日付で東京法務局に変更登記の手続きを

完了し、5月15日付で内閣府へ変更届を提出した。

代表理事（退任）豊岡瞭尔

（新任）佐藤行雄

（敬称略）

3. 評議員に関する事項

（1）平成27年6月4日開催の第5回評議員会において、理事に推薦されたことに伴う豊岡瞭尔評議員の退任が決議され、法務局の変更手続きを行い、8月31日付で内閣府へ変更届を提出した。

（2）平成28年2月15日開催の第7回評議員会において、浦野瑞明、宮林雄彦両評議員の退任に伴い、評議員2名の新任の決議が行われ、3月22日付で東京法務局に評議員変更登記の手続きを完了し、5月30日付で内閣府へ評議員変更届を提出した。

（退任）浦野瑞明、宮林雄彦

（新任）川中光教、杉山俊明 ※補欠として新任（敬称略）

4. 委員に関する事項

平成27年6月19日開催の第6回評議員会において、助成審査委員会の設置が決議され、次の通り委員が選任された。

（新任）今岡達雄、新谷仁海、藤木雅雄

5. 事業報告に関する事項

平成27年6月30日付で内閣府に平成26年度の計算書類及び事業報告並びに附属明細書を提出した。

6. 会議に関する事項

（1）理事会

開催場所	審議事項	結果
第5回理事会		
H27. 5. 20 第1会議室	1. 平成26年度事業報告及び附属明細書の件 2. 平成26年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の件 3. 役員候補者名簿の件 4. 第5回評議員会開催の件	原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決
第6回理事会		
H27. 6. 19 第1会議室	1. 理事長及び業務執行理事選定の件 2. 事務局長選任の件 3. 役員報酬（月額）の件 4. 平成27年度事業計画の変更及び予算の補正の件 5. 平成27年度第1回助成団体選考の件	原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決 委員会に付託
第7回理事会		
H27. 7. 27 決議の省略	1. 第6回評議員会開催の件	原案通り承認可決
第8回理事会		

H27. 10. 27 決議の省略	1. 就業規則の一部改定の件 2. 助成団体選考の件	原案通り承認可決 原案通り承認可決
第 9 回理事会		
H28. 2. 5 第 1 会議室	1. 評議員候補者名簿の件 2. 助成審査委員会規程、特定個人情報取扱規程制定の件 3. 平成 28 年度事業計画及び予算の件 4. 収益事業拡大に伴う届出の件 5. 平成 28 年度役員報酬（月額）の件 6. 第 7 回評議員会開催の件	原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決
第 10 回理事会		
H28. 3. 15 第 2 会議室	1. 理事長選定の件 2. 新理事長役員報酬（月額）の件	原案通り承認可決 原案通り承認可決

(2) 評議員会

開催場所	審議事項	結果
第 5 回評議員会		
H27. 6. 4 第 1 会議室	1. 役員選任の件 2. 平成 26 年度事業報告及び附属明細書の件 3. 平成 26 年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の件 4. 役員及び評議員報酬等規程の改定	原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決
第 6 回評議員会		
H27. 9. 2 決議の省略	1. 平成 27 年度事業計画の変更及び予算の補正の件	原案通り承認可決
第 7 回評議員会		
H28. 2. 15 決議の省略	1. 評議員選任の件 2. 平成 28 年度事業計画及び収支予算の件	原案通り承認可決 原案通り承認可決

(3) 委員会

開催日	委員会名	審議事項
H27. 10. 9	助成審査委員会	1. 事務局評点の確認及び修正 2. 採否判定ラインとなる点数の設定 3. 助成先団体の決定 4. 交付額の配分率の決定 5. 今後の選考基準の検討

平成 27 年度事業報告 附属明細書

平成 27 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 28 年 5 月
公益財団法人 浄土宗ともいき財団